時事新報

驛遞局認可

明治十八年四月九日（西暦一千八百八十五年）木曜日

第九百三十八號　日曜日休刊

公報

○大藏省告示第五十五號

第百二十六國立銀行跡引受人　小西　[illegible]

右第百二十六國立銀行跡引受人兼務差免ス

第百二十六國立銀行跡引受人　木村　平八

右第二十六國立銀行跡引受人兼務申付ル

第二十六國立銀行跡引受人　岡橋　治助

右第百二十六國立銀行跡引受人兼務申付ル

右告示候事

明治十八年四月八日　大藏卿　伯爵松方正義

賞勲叙任

○明治十八年四月七日

勳三等賜旭日中綬章　東京大學教授軍醫監從五位勳四等　橋本　綱常

仝　步兵大佐從五位勳四等　山川　浩

仝　仝　仝　黑木　爲楨

仝　仝　仝　乃木　希典

仝　警視副總監步兵中佐從五位勳四等　綿貫　吉直

仝　步兵大佐從五位勳四等　平岡　芋作

仝　會計監督從五位勳四等　小池　正文

仝　正五位勳四等　西村　[illegible]

仝　元老院議官從四位勳四等　岩村　定高

仝　仝　仝　楫取　素彦

仝　仝　仝　籠手田　安定

仝　仝　仝　小畑　美稻

勳四等賜旭日小綬章　檢査官正七位勳五等　酒井　[illegible]

仝　宮内省三等出仕正五位　高崎　正風

仝　元老院議官從四位勳五等　長松　幹

勳五等賜雙光旭日章　海軍權少書記官正七位勳六等　廣岡　逸人

仝　三等警視正七位勳六等　三橋　勝到

○明治十八年四月七日

任農商務少輔　兵庫縣令正五位勳三等　森岡　昌純

叙任參事院員外議官補　農商務權少書記官憲兵大尉正七位勳六等　大山　綱昌

時事新報

御發輦近キニ在リ

[illegible]陛下ニハ[illegible]行事村近傍ニ於テ廣島熊本兩鎮臺諸兵ノ[illegible]大演習御親閲トシテ行幸仰出サレタルハ去ル二月廿五日ノ事ナリシガ尋テ御發輦日限ハ本月十日ニ決定セラレ大山陸軍卿ハ去ル四日、山縣内務卿ハ去ル六日[illegible]レモ御先發トシテ廣島ニ出張セラレ尚來ル十日[illegible]ニハ[illegible]臣百僚ノ陪從供奉セラルヽ可キハ勿論、兼テ行幸[illegible]ト定メラレタル此處、筑前、日[illegible]、壬[illegible]、第二丁卯ノ五[illegible]モ皆[illegible]相[illegible]ンデ[illegible]シ[illegible]、[illegible]上[illegible]ニ[illegible]、頗ル大演習ニ[illegible]ル行事村近傍ニ行幸セラルヽトナランカ[illegible]ノ[illegible]内定アリタルヿ[illegible]ニ仰出サレタルヿニ非ズト[illegible]上[illegible]年以來西南ニ東北ニ[illegible]行[illegible]今又[illegible]テ亂[illegible]ラ鎮臺兵ノ大演習[illegible]閲覽セラル、此處ヲ聞ク[illegible]才威[illegible]起セザラン我輩臣子ノ哀情彷カニ昭代ノ盛事ヲ聞テ感涙ノ轉タ縱横タルヲ覺フルナリ

又右行幸ノ一事ハ我陸海軍ノ武風ヲ振起シ軍臣民ノ志氣ヲ作興スルノミナラズ或ハ偶然ニモ我國威ヲ海外ニ示スノ一端トモ爲ル可シト思ハル、其次第ハ他ノ儀ニ非ズ我國ニ於テハ昨年十二月ノ朝鮮事變ニ就キ支那政府ニ向テ談判スル所アルガ爲メ參議兼宮内卿伊藤博文伯ヲ以テ遣清特命全權大使ト爲シ其一行ハ既ニ北京ニ入リ尋テ天津ニ引キ返シ北京政府ノ談判全權大臣タル李鴻章呉大澂等ニ相會シテ本月三日ヨリ談緒ヲ開キ今正ニ其談判最中ナルガ如シ然リト雖ドモ彼ノ朝鮮事變ニ就キ日清双方ノ曲直ハ恰バ婦人女子ノ美醜ノ如ク世界自カラ定評アリ特ニ支那ノ李大臣ハ平和一偏ヲ以テ外交主義ト爲ス人ナリ伊藤大使モ亦平和主義ナリトハ人ノ知ル所ナレバ我要求スル所モ充分ニ滿足サレ早晩日清ノ和議整ヒ伊藤大使ハ平和ト榮譽ヲ擔キ得テ夢穩ニ天津ヲ發スルニ至ランヿハ我輩日本國民ノ備テン企望スル所ニシテ今日トモ云ハズ明日トモ云ハズ談判成レリトノ天津電報ニ接スルナル可シト思ヘバ或ハ談判ノ都合次第ニテ日又一日ヲ遷延シ今後尚數日ヲ費ス樣ノ事アルキニ當リ我天皇陛下ニ於テ偶然ニモ福岡縣下ニ行幸セラレ鎮臺兵大演習御親閲アリトノ報道世界萬國ニ響クト同時ニ支那ノ北部ニモ通達スルヿアランニハ之ヲ聞クモノ我天皇陛下ノ敵愾文武ニシテ時ニ及ンデ六師ヲ習練シ精勵勞勤ヲ以テ下ヲ率ユルノ美風ニ對シテ慄然トシテ感動セザルヲ得サルベシ但シ此度ノ行幸ハ程遠クヨリ御内定アリタルヿニシテ一朝不意ニ仰出サレタルヿニ非ザレバ固ヨリ其然ルヲ圖テ然ルモノニ非ザレドモ其御發輦ノ日限ノ偶然ニモ今日ニ際シタルヲ以テ或ハ遙ニ我國威ヲ海外ニ示スノ一端ニ爲ランカト察セラルヽナリ我輩草莽ニ在テ彷カニ盛事ヲ聞キ今度行幸ノ一事ノ大ニ内外ニ感動スル所アランヿヲ信シテ獻芹ノ微誠、一言之ヲ今日ニ披露スルモノナリ

雜報

○森岡昌純氏　一昨七日農商務少輔に轉任し即日非職仰付られたる森岡昌純氏は兼て噂さありし如く近々共同運輸會社社長を擔任せらるべしといふ

○警視總監の隨行員　三等警視三橋勝到氏は一昨七日警視廳に於て大迫警視總監の七縣巡閲に付隨行仰付られたり

○生徒召募檢査官　砲兵大佐黑田久孝氏は士官學校生徒召募檢査官と士官學校醫官一等軍醫正田代基德氏は仝檢査醫官と孰れも本月二日仰付られたり

○炭質調査委員　海軍少[illegible]少太郎氏は一昨七日天草無烟炭質調査委員仰付られたり

○パアクス公使の後任　パアクス公使の後任に付ては種々の風説ある中に日本駐箚の英公使プランケット氏が在清公使に轉任すべしとの説もある由昨日の紙上に記載せしが尚聞く所に據ればパアクス氏が死去の報あるや否や英國外務卿グランヴヰル卿は電報を以てプランケット氏に其後任を承くべき内命を傳へたるにプランケット氏は故ありて之を辭したる由其説に在清公使の職は在日本公使に比すれば餘程重要なるものあるに氏が此榮命を辭しゝるは一には同氏の夫人が病氣の爲め又一つには同氏は既に日本の條約改正の事に取掛り居れば中途にて他國に轉任するを好まざる爲めなりと云へり

○パークス氏を弔す　去月二十五日香港殖民地立法議會の會場にて議員の一人なるリー氏がパークス公使死去の事に付き大にパークス氏が生前の功勞を稱賛し且つ曰く予も去る千八百五十一年に初めてパークス氏と知り夫より氏の朋友となりされば氏が支那日本に於ける經歴は予が最も能く知る處なりと述べ終に臨み當議會よりパークス氏の遺族に宛て弔詞を差送るは如何との發議を爲しゝるに議員の一人ジャクソン氏も之を賛成せしに付其議を衆議に問ひし上全會一致にて之を可決しゝる由又當日香港太守ボーエン氏も議場に臨み自ら其本國なる殖民地事務卿に送りたる公報を朗讀せしが其大意は左の如くなりしと

閣下、本日二十二日サー　ハーリー　パアクスが加減腦室挾斯の爲めに三日間病氣の末死去したりとの電報を得て當香港の氏が數年間居住したる所なると以て當地人民は深く哀惜の情を現はせり此感情は獨り當香港のみに止まらざる氏が廿五年餘の間領事又は公使として關係ある支那日本の英國居留人民の間にも一般普通なるべし從來氏の政策の或部分に付ては氏と意見を異にする人々と雖も常に氏が多くの高尚なる資性即ち其剛勇にして氣力あり心力を公事に事にして私を營まざるには感服せり又氏の死は小官の一身に取りて大なる損害なり小官とパアクス氏との間柄は公私兩ら常に親密なりき先頃小官が病氣に付醫師の診斷書を添へて一時の賜暇を願出たるに閣下は幸ひ之を許容せられしがパアクス氏は竊に之を嫌まざる色ありき然るに尋て小官が目下東洋多事の際なれば假令何程自己の健康に害ありて一身の便利を損するとも務めて現職を保つべしと決心するに及び氏は喜び且つ賞賛せり此點に於てはパアクス氏の感情と小官の感情と同じ氏は近來體力次第に衰へ且つ目下多事の時に當り氏は身上に路來る事務と責任との重に堪へざれども氏は敢て他人が氏に勸むるに一時の休暇を請ふて心身を保養すべき旨を以てすると雖も氏が近頃一友人に與へたる書中に余は體力衰耗して長く今日の劇務に堪る能はず短き間なりとも少しく休暇せざるべからざる故に余が萬一事に當り失策するとあらば其罪は余が體力の足らざるにあると知られよ然れ共余は本年の暮までは如何やうにも務めて職務を執る積りなりと云へり氏の朋友も又氏自らも若し氏が病氣なるにも拘はらず強て北京に止まらんには少しく重き病にかゝらば忽ち之に抵抗するの力を失ふべしと知れり然るに氏は之を知りつゝ北京に止りて直に我女皇並に我英國の有爲にして英雄なる忠臣として而病中の尤も嫌忌すへき病の爲め[illegible]

[illegible]べきの風ありと云[illegible]

○東京府區部會[illegible]（招聘）ハ麹町區[illegible]直彦氏當撰したる[illegible]中[illegible]費（七萬八千[illegible]萬二千八百八十四[illegible]議員[illegible]正ありしと[illegible]給の内[illegible]給（六千[illegible]費（十五圓）は[illegible]十圓）は三十一番（[illegible]し五[illegible]五十五分休[illegible]區部[illegible]にても決[illegible]に付區部會にても同[illegible]議長（招聘）ハ同[illegible]藤）五十五番（[illegible]山[illegible]開き警察費（一万五[illegible]項議了し猶此案の[illegible]警察[illegible]費（二万四[illegible]區役所新築費（二[illegible]委員は不急の土木[illegible]選）本日實地見分[illegible]して[illegible]火を點し事[illegible]滯するのみならず[illegible]か之を削除せしは[illegible]せんと欲するなり[illegible]十番（志摩）實地見[illegible]内晴黑にして殊に[illegible]き日光と取るに由[illegible]適良の家屋無けれ[illegible]六番（松田）別に本[illegible]なり六番（藤田）官[illegible]の害にして之を許[illegible]此大土木の今年[illegible]せるは決して今[illegible]あらば或は應諾す[illegible]困難の時に當り此[illegible]人民の疲弊を見認[illegible]姑く此儘に爲し借家[illegible]なれば其際常置委[illegible]一番（田口）本員も[illegible]察全体の上に於て[illegible]費相當み此九箇月[illegible]なれどなり左きは[illegible]との精神にて削除[illegible]府廳の此議案と提[illegible]しく爲め事務澁滯[illegible]込にて[illegible]に其增築[illegible]込南區役所を新築[illegible]案賛成者の説と共[illegible]つ其建築の位置を[illegible]見て漸次必要の者[illegible]は甚だ[illegible]ありしが[illegible]の削除に決し閉會[illegible]

○[illegible]大[illegible]裂に就[illegible]院の外[illegible]席[illegible]倫敦よりの電報に[illegible]せしが右報道の未[illegible]所の集會に於て爆[illegible]かりしよし今去る[illegible]據れば同地の社會[illegible]所コンコルヂヤ集[illegible]各其意見を述べた[illegible]氏は爆裂藥の[illegible]は[illegible]て之を取ひ兩巷小[illegible]らん、當時日耳曼[illegible]する樣と以て見れ[illegible]巴里も必ず[illegible]